



2020年8月1日

各位

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お客様本位の業務運営に関する方針への取り組みについて

インベスコ・アセット・マネジメント（以下「当社」）では、「お客様本位の業務運営に関する方針」（以下「本方針」）に基づき、継続的にお客様本位の業務運営に向けた様々な取り組みを推進しております。ここでは、その取り組みの一部についてご紹介させていただきます。

※KPIの実績は2020年1月から同年6月までを対象

方針1：資産運用のプロフェッショナルとして、[Code of Conduct](#)*に準拠し、グローバル・レベルの高い職業倫理の醸成に努めるとともに、お客様の最善の利益を追求するよう努めてまいります。

*インベスコ・グループが策定する行動規範です。

<取り組み>

当社では、マネジメントから職員に対して常に法令遵守、お客様本位の業務運営の重要性を周知するとともに、全役職員に対して定期的なコンプライアンス研修を実施するなどして日頃から役職員の職業倫理の向上に努めています。これらの努力によって役職員が主体的に、資産運用業者としての社会的責任とその役割の重要性を認識し、積極的に倫理観を向上させることを奨励しています。また、社内に相互牽制機能が働く組織体制を構築することによって、資産運用業者として疑義が生じる行為等について適切な判断ができるようにしております。

<KPI>

コンプライアンス・レター：コンプライアンス・マインドを醸成し、各種制度を周知するために定期的に全社員宛に email でコンプライアンスに関する事項を配布。全期間中は11回配布しました。

方針2：利益相反管理に関する規程の下、業務の遂行において、お客様との利益相反の可能性について把握につとめ、適切な対応を行います。

<取り組み>

当社では、利益相反のおそれのある行為、取引を適切に管理し、お客様及び当社が運用する運



用資産を守るために様々なモニタリング活動（ファンド間の取引、役職員の有価証券取引等）を行い、その結果を利益相反管理委員会、リスク管理委員会に報告する管理体制を構築しています。これらのことにより、利益相反のおそれのある状況を特定した場合、利益相反のおそれのある取引についてお客様への開示を行うことや取引そのものを中止する等の適切な判断ができるような体制となっています。

<KPI>

対象期間中利益相反管理委員会を3回開催し、利益相反取引が無いことを確認しました。

方針3：私たちが提供する金融商品・サービスについて、お客様にご負担いただく手数料や費用がどのようなサービスの対価であるかを、関連するその他の重要事項とともに分かりやすく提供いたします。

<取り組み>

当社では、手数料や費用はもとより、お客様にお届けするその他の重要事項を分かりやすく伝えることは、当社の商品を理解していただく上で大切なことと考えています。こうした考えのもと、交付運用報告書、交付目論見書、月報及び販売用資料といった資料についてより視覚的な「分かりやすさ」の向上を図るとともに、お客様にご負担いただく手数料や費用、投資リスクなどの記載内容の面においても、平易で明確な表現を用いることで「分かりやすさ」の向上を目指しております。

方針4：お客様のニーズに合う多様な商品を開発するとともに、お客様にご満足いただけるよう、それぞれの商品の情報提供に努めてまいります。

<取り組み>

当社の商品開発におきましては、日本法人での厳格な承認プロセスに加え、アジア太平洋地域ならびにグローバルでそれぞれ厳格な承認プロセスが存在します。それぞれのプロセスは委員会形式を採用しており、様々な部門の代表から構成されております。それぞれの委員会において、運用戦略やストラクチャーの妥当性に加え、リスク管理手法、顧客ニーズおよび顧客適合性、ならびに費用水準の妥当性などを総合的に検討、議論した上で、商品を世に送り出すか否かの決定が行われます。このように、当社においては、常に顧客本位の商品が提供されるような仕組みを整えて、商品の開発を行っております。

商品の情報提供については、月報や運用報告書などの定期的な資料に加え、商品の特徴をわかりやすく説明するための販売用資料や、市場の大幅変動時の臨時レポートを作成するなど、きめ細やかな対応を行っています。また、投資家の皆様に当社の商品やサービスに加えて、資産運用に関



する広範な情報提供を行うことで、資産運用に関して、より深く理解していただけるように努めております。

新型コロナ感染拡大で、人との接触や外出が制限される状況の中、投資家の皆様がマーケットや投資信託の情報収集をご自宅で効率的に行っていただけるよう、当社ホームページを通じた情報提供を増やしました。特に、3分前後の短い時間で気軽にご覧いただけるショート動画の掲載により、資産運用に関する情報に触れていただく機会を増やせるよう努めました。

<KPI>

マーケットや投資信託に関する特別レポートの掲載本数：17本

マーケットや投資信託に関するショート動画の掲載本数情報提供件数：28本

方針5：お客様の素晴らしい投資体験を実現するため、私たちは各種メディア、セミナー、ウェブサイト及びSNS等を通じて資産運用に係る啓蒙活動を行うとともに、資産運用の一助となるべく、世界の市場動向・経済見通し・金融政策等の積極的な情報提供に努めてまいります。

<取り組み>

当社では、お客様により深度のある投資関連情報をご提供し、またお客様ごとの運用ソリューションをご提供できるように、より革新的なサービス提供体制の構築を進めております。個人投資家に対しては、自社ホームページ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）やオウンドメディアを活用し、投資関連情報をタイムリーに発信するとともに、人生100年時代の資産形成や世の中の全般のトレンド、あるいは当社に関する情報を様々な形でご紹介しております。さらに、機関投資家、年金基金、金融機関のお客様に対しては、専用のホームページを立ち上げ、当社グループのもつ運用力やソリューション力、あるいはESGに関するより深い情報を発信しています。

人生100年時代といわれる長寿化の時代の中で、これまでとは異なるマインドセットで資産形成を考えていただく必要があると考え、「100年時代のお金について考える」というレポートをシリーズで発行し当社ホームページに連載しました。また、人生と社会を豊かで幸せにする投資の本質を広げる目的で立ち上げたグローバル資産形成研究所の専用ページを開設し、当該研究所で作成しているコラムやレポート、動画などの掲載を行っています。

<KPI>

投資関連情報の掲載本数：99本

投資啓蒙に関するレポートの掲載本数：9本

動画コンテンツの掲載：7コンテンツ

SNSを通じた情報提供：445回

オウンドメディア WealthRoadを通じた情報発信：124回



方針 6：研修などを通じて、役職員への当該方針の周知徹底を図ってまいります。

<取り組み>

グローバルで定められている顧客本位にかかるビジョン【At Invesco, we want to be the most client-centric firm in our industry.（運用業界で最も顧客本位を目指す）】やコンピテンシ
ー（行動基準）を周知し、顧客本位の業務運営への意識の向上に注力しております。
また、ビジョンについての考えたかを周知するために、全社員ミーティングを2月に行いました。

<KPI>

全社ミーティングを2月に実施

方針 7：当該方針に基づく取組状況を定期的に公表するとともに、この方針自体の見直しも行ってまいります。

<取り組み>

当社では、お客様本位の業務運営の各方針を所轄する部門の代表を中心としたワーキンググループが進捗状況の確認を行い、経営委員会に報告しております。また、取り組み状況を定期的に公表するとともに、必要に応じて方針の見直しを行っております。

<KPI>

関連する部署 7 部署 7 名のミーティング： 計 4 回

その他事項：

新型コロナ感染拡大の状況をうけ、顧客や社員の感染拡大の防止ならびに事業継続を目的として、緊急事態宣言発令の約1か月前より全社員の在宅勤務体制を整えました。緊急事態宣言下では在宅勤務比率が90%を超える状況となりましたが、通常のオフィス勤務時と変わらぬ顧客本位の業務運営が継続できるよう注力いたしました。

以上